

# みどりの道

2008  
Vol.39



みんなで広げよう外環の環！

## 外環と環境を

昨年12月、外環にまつわるさまざまなイベントを開催しました。多くの市川・松戸市民の皆さまにご参加いただき、工事の進捗や環境に対する取組などを、体験していただきました。今回の特集では、子供たちの「へえ」「なるほど!」「すごーい!」とともに、外環の環境に対する取組をご紹介します。

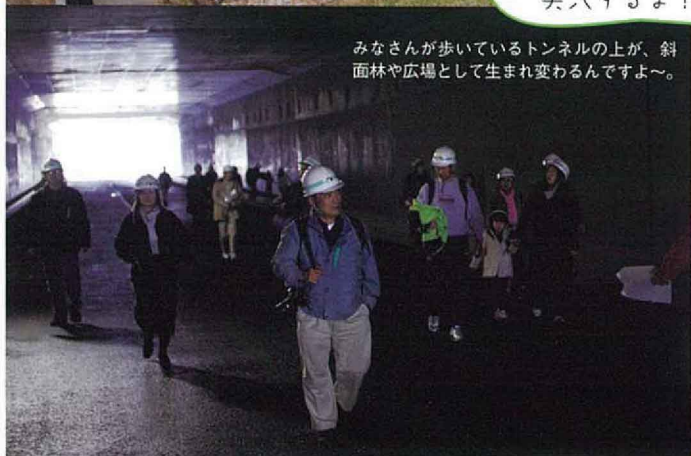
## 考えてみたよ!

平成19年  
12月2日  
新たな芽吹きのお手伝い

平成19年  
12月14日  
高谷体験道路  
体験会

平成19年  
12月15日  
外環  
市民・家族見学会  
(外環ウォーキング)





## 皆さんに愛されてきた林が、 やがて復元されます

外環ウォーキング 矢切台地付近

国道6号から主要地方道市川松戸線までの国道298号が、今年度内に開通します。外環市民・家族見学会にご参加の皆さまには、まさにその開通前の道路を歩いていただきました。トンネルの上は、もともと矢切の斜面林があったところ。斜面林は地元の皆さまのお知恵をお借りしながら、復元をしていきます。外環が完成すると、その上は憩いの森と公園になるのです。



※整備時期は、平成27年度全線開通までの間です。現在意見交換会や検討が進められています。

## ここまでは、もうすぐ開通！

外環ウォーキング 主要地方道市川松戸線付近



見えているのは、将来高速道路になるトンネル。この上を主要地方道市川松戸線が通っています。

今年度中にここまで一部開通します。見学会御一行様は市川松戸線をくぐって、松戸矢切地区モデル道路へ。ここには外環の環境保全空間が「モデル」として整備されており、遮音壁や植栽など、外環の環境への配慮を感じることができる場所になっています。



こちらは松戸矢切地区モデル道路。おもに在来種で構成された、里山風の植栽や、車道からの騒音を低減する遮音壁などに、皆さまは興味津々でした。



外環インフォメーションセンター矢切 来館者数 5000 人達成！

外環市民・家族見学会に参加された淡野彰太君が、5000 人目の来館者に！皆さまも、外環事業の説明や相談の窓口として、どんどんご利用ください。



## 公園の木を守り、 騒音の配慮もしているよ

外環ウォーキング 小塚山公園付近

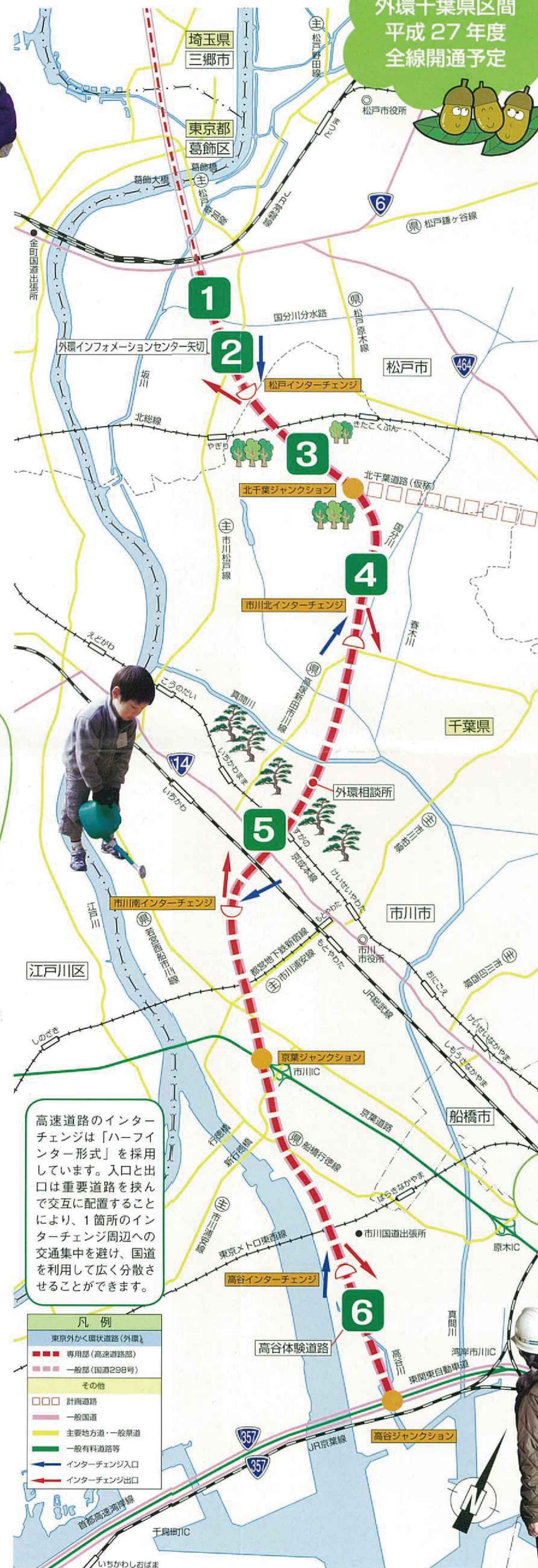
小塚山公園の下を通る外環。現在はそのトンネル工事が行われています。トンネルの両出口は、現在大きな「防音ハウス」で覆われている、工事の音が近隣の住民の迷惑にならないように配慮しています。また、建設地にあった樹木は、工事のために一時的に移植。工事が終わった後木を戻します。



これは、平成 17 年に  
行われた移植の様子。



公園周辺の外環予定地には、小塚山公園から一時的に移植され、トンネルの完成を待つ樹木が見られます。



## 最先端技術で作られる 半地下部分

外環ウォーキング 国分掘割部試験工事

外環は、周辺の環境に配慮し、みどり豊かな「環境保全空間」を設置。ほとんどの高速道路部分は半地下構造にする計画です。市川市国分では、半地下になる高速道路部分の試験工事が行われています。地盤を所定の位置まで掘って構造物をつくる「開削工法」と先に地上で高速道路本体をつくってから、その場所地下に沈める「ニューマチックケーソン工法」の2種類を採用し、工事中の環境対策も含めて今後の外環にふさわしい工法を検討しています。

掘削の遠隔操作や、水槽を使ったケーソン工法の原理などをわかりやすく説明。子供たちも大喜びでした！

これは、平成 18 年に平田二丁目外環事業地内で行われた、クロマツの試験移植の様子。こうしてクロマツの景観を残す取組を行っています。



みんなが植えた苗が、  
大きな木になるよ！



歩いてみると、  
よくわかります！

高谷体験道路体験会 高谷体験道路

外環(両サイド)に整備される環境保全空間。そのさまざまな整備例が見本市のように展示されているのが、高谷体験道路です。ここでは事前申込制で体験会を行っています。歩きやすさやデザインなどを確かめたり、車いすや白杖などを用いて障害者にはどのような形状の道路が良いか考えたりと、まさに将来の外環を体験できる空間になっています。

## 外環と環境を考えてみたよ！

手前の四角い穴が「開削工法」。奥にある逆U型の大きなクレーンが見えるところが、「ケーソン工法」。



これは、昨年 8 月 20 日に撮影した「ケーソン工法」の写真。こんな大きな構造物が、地中に埋まりました。



みんな植え方のレクチャーに真剣！  
大切な苗ですからね。



市川市の木、  
クロマツを植えたよ！

新たな芽吹きのお手伝い 平田緑地付近

市川の木はクロマツ。その、クロマツの景観を残そうと、将来の外環沿いにクロマツの実生苗を地元の子どもたちが植えました。この苗は、平成 16 年度から、小学生たちが大切に育ててきたもの。それが、ついに大地に植えられたのです。どんどん根を張って、植えてくれた子供たちや外環とともに、すくすくと育ってほしいですね。



平田町会の皆さん、お疲れ様でした！



今回ご参加いただいたのは、市川市大和田自治会の皆さん。



高谷体験道路体験会 高谷体験道路



## スペシャルインタビュー

# 外環は、市川のまちづくりの総仕上げ

市川市議会 東京外郭環状道路特別委員会 委員長 増田三郎

市川市大和田出身、市川一筋で行政に携わってきた増田氏。外環事業においても約15年もの長きに渡ってご尽力いただいております。増田氏にこれまでの経緯や、外環への思いを語っていただきました。

●平成5年に市川市が外環を受け入れた後、助役(現:副市長)という立場にいらっしやいましたが、当時どのような経緯で受け入れられたのでしょうか。

当時の計画では、三つのルート案がありました。江戸川沿いを通るルート、旧市川ー松戸有料道路を通るルート、そして現在事業中のルートです。市内の交通混雑を緩和するだけならばどのルートも大きな差はないのですが、将来的な市川市のまちづくりや防災機能を考えると、なるべく市街地にあった方が良いでしょう。せっかく受け入れるのであれば、それを最大限有効活用すべきとの考えで、長年にわたって議論されてきた結果、現在のルートが採用されました。

平成5年の5月に、市川市は外環の受け入れを決定しました。千葉県に対しては、9分類22項目、6分類28項目(路線・構造・環境・移転者対策など、市川市が受け入れの際に付けた要望)を挙げました。そして、一日も早い完成を目指すために、居住地が外環のルート上にある多くの方々に、お願いをしてきました。

皆さんに外環のことをご理解いただくうえでは、事業者任せではなく、市民のみなさんと一緒に思いを込めてやるのが何よりも大切。将来の子どもたちや孫たちまで「市川に生まれてよかった、住んでよかった」と思えるような道路やまちづくりをしたい。

十数年経ちまして、いよいよ本格的な工事が始まろうとしています。外環は私が市民お一人おひとりに理解と協力を求めてきた仕事です。その集大成にこれから入るのですから、今の職責においてもこれまで以上に真剣に進めていきたいと思っています。外環は市川にとって、21世紀最後のまちづくり事業ですから。

●外環は、市川にどのような効果をもたらしますか。

市川は鉄道網がしっかりしていて、都心へのアクセスが良いまちです。しかし、道路網を見てみると、東西の道路は何本かありますが、南北を結ぶ大きな道路がありません。道路整備が立ち遅れているわけです。外環は、首都圏の道路ネットワークのなかで、一番大事な道路ですね。外環が通れば利便性が大きく向上し、まちづくりの仕上げができるわけです。実は、下水道も整備されていない地区が市内に40%ぐらいあります。京成線から北側は、緑豊かな土地があるのですが、下水道が完備されていないことによって、河川の汚れや治水関係など影響が出ています。外環ができれば、その地下を利用して北西部地区の下水道はほぼ完成します。下水道の普及率の向上は、文化、健康都市として一番大事なことです。本来100%でなければならないと思っています。

交通も大事ですけど、外環は防災や北西部地区の下水道整備にも寄与しますから、非常に効果が大いなのです。まさに外環は、市川の夢を実現する道路なのです。



高谷体験道路での体験会の様子。「なかなか良くてきた道路だね。単にバリアフリーではなく、やはりユニバーサルデザインの時代ですね」と、増田氏。皆さまも高谷体験道路にぜひお越しください。



増田三郎(ますだ さぶろう)  
消防大学卒。昭和32年に市川市消防本部消防士を拝命。市川市消防局長、市川市助役を経て、平成11年5月に市川市議会議員に。現在に至る。

●外環の用地取得は、現在厳しい困難な状況ですが、これを乗り切るにはどのようにすれば良いと思いますか。

あと300件弱の、ご協力を願わなければならない地権者に、市民が協力を願うようにしなければいけません。早くから買収に応じた方々からの期待も大変大きいです。市民アンケートでも75%以上が早期整備を望まれています。私自身も、市川市議会の東京外郭環状道路特別委員会の委員長としての責任も果たしていかなければならないという思いで一杯です。

なかにはまだ、ご理解、ご協力をいただけない方もいらっしゃると思います。私は、そのような方々にも何度もお会いしてきましたが、ここまで来たら協力していただきたいと思っています。私たちも将来の市川を見据え、子・孫の代まで考えたまちづくりを進めたいと思っています。

まちづくりは、いろいろな方が関わりますから、全員の合意を得るのは至難の技です。でも外環へのご理解をいただけない一部の方々のためだけに、工事全体を遅らせるわけにはいきません。ですから、今後は委員長として、外環を進めるためにできる限りのことを率先してやっていきたい。

市川市民が誇りを持って生活していくために、夢を実現させるために努力していきたいと思っています。

## 外環についてのご相談はこちらまで！

### 外環相談所

外環の計画、道路の構造、環境対策、用地補償、代替地に関する情報提供など、地域の皆さまのご質問にお応えしています。

毎週月曜日から金曜日および毎月第2日曜日開設  
午前9:00～午後5:00まで。  
(年末年始・祝祭日は休みです)  
〒272-0824 市川市菅野6-1-9  
☎047-323-0999



最寄駅: 京成本線菅野駅から徒歩約8分

### 外環インフォメーションセンター矢切

外環事業の概要・進捗状況等をお知らせしたり、事業・工事に関する相談窓口として、地域の皆さまのご要望にお応えしています。

毎週月曜日から金曜日および毎月第2日曜日開設  
午前9:00～午後5:00まで。  
(年末年始・祝祭日は休みです)  
〒271-0095 松戸市中矢切589-15  
☎047-363-3452



最寄駅: 北総線矢切駅から徒歩約10分

### 国土交通省首都国道事務所

〒271-0072  
松戸市竹ヶ花86  
☎047-362-4111(代)  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/syuto/>

### 東日本高速道路(株)千葉工事事務所

〒261-0014  
千葉市美浜区若葉2-9-3  
☎043-350-3321(代)